

④ 放射性物質の汚染検査、簡易除染



線源にマントルを使用した
ブラインド実習

人の汚染検査実習

物の汚染検査実習

簡易除染実習



目的及び到達目標

防護活動演習の概要

- ① 座学で学習した内容の復習
～座学における疑問点の解消～
- ② 参加者相互の情報交換
～参加者の役割の理解～

テーマ

- ① 内部被ばく、外部被ばくの防護方法
- ② 各段階での自分（自組織）の役割
（どうなったら、あなたは何をしますか。）
- ③ よりよい避難等（一時移転、屋内退避）の実施方法
（よりよい避難等を実施するにはどうしたらよいか。）

時間配分、班編成

- ・ 60分程度で検討する。（発表を含め、125分）
- ・ 1班：10名、各班にアドバイザーを1名配置。

防護活動演習



検討風景

発表風景



講義内容

① 放射線防護のために必要な基礎知識（35分程度）

- 放射線と放射能
- 被ばく形態
- 身の回りの放射線
- 放射線の人体への影響
- 放射性物質、放射線の放出形態及び被ばくの経路
- 被ばくの防護
- 被ばく線量の測定
- 放射線被ばくの管理

② 原子力災害対策指針の概要及び住民防護活動の流れと防護処置（40分程度）

- 地域データを基に原子力災害対策指針の概要、指針に基づいた業務行動における防護処置